

老朽原発 うごかすな! ニュース

第88号

発行・老朽原発うごかすな!
実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102

老朽原発うごかすな! 行動に参加して

東海第二原発の特徴と問題点

今回の「12・4 関電包囲全国集会」などに、東海第二原発をたたかう「東海第二原発差止訴訟原告団」をお招きいただき、茨城県から参加させていただきました。

12・4の集会とデモには、900名の結集とされ、関電本店周辺には各地からの旗が



発言する披田さん

林立し、その報告も厚みのある、熱のこもったものとなりました。毎回大阪のデモは長く、ついていけるかと心配しますが、何とか皆とともに歩きました。

この前段として、3日に京都で、鹿児島島の川内原発の向原さんと一緒に、報告会を開いていただき、お話をさせていただきます。

その中で、東海第二原発の特徴と問題点について、

①耐震基準も整備されていない時代の設計、建設で、270ガルと言われたものが、現在では1009ガルに耐えられるということの摩訶不思議さ。

②BWRの中で最も格納容器

が小さいこと。

③地盤が悪く人工地盤の上に載せられた原発。津波対策で建設中の防潮堤では、深さ60mまで鋼管杭を打ち込んで作らねばならず、それでも液状化が心配される。

④3・11で津波をかぶりあわやというところで止まった被災原発であり、太平洋に直接面した立地で海拔8mに立つ、最も津波に弱い原発であること。

⑤人口密集地域に立地し、P AZに6・5万人、UPZに87・5万人、合わせて30km圏内に94万人が生活する。広域避難計画とその実行は、きわめて困難であること。

⑥東海村には複数の研究炉、核燃料工場のほか、廃止措置に入っているものの超危険な高レベル放射性廃液を抱える「東海再処理施設」と、複合

的な原子力災害となりうる世界的にも珍しい地域であること。と、ご紹介し、老朽原発であることの危険性について、「設計の旧さ」を指摘しました。

高浜1、2、美浜3とも共通していますが、原発火災の危険性から施設内に張り巡らされているケーブルの難燃化への張替えは一部しかなされず、そもそもケーブルの寿命は60年も持つ設計ではないことの問題など、改修で解決

12・4全国集会に参加して

関西電力に原発を諦めさせよう

こんにちは!奈良からの報告です。「つどい実行委員会」は、本日もすくなくないながらも元氣良く、集会、デモをやり遂げました。

いつも同じことをいいますが、奈良は、若狭から100キロのところの位置します。東大寺のお水取りでは若狭の水を奈良東大寺で汲むというほどのつながりがあります。



発言する堀田さん

でも原発は話題になりません。事故が起こった時は敦賀市民

できないたくさんの問題を抱えています。最後に、一番の水戸地裁で日本原電に「運転禁止」という勝訴を勝ち得た原告住民は、今、来年1月31日に第1回口頭弁論が始まる控訴審で、日本原電・国の期待しているだろう逆転判決をさせないために、今、気を引き締めて臨んでいます。
(東海第二原発の再稼働を止める会
披田信一郎)

を受け入れる協定があります。奈良県知事は奈良県の電力使用割合は近畿の5%前後だからとエネルギー政策に少しも積極的ではありません。

フクシマ事故をきっかけに多くの人が原発は反対であるという思いの中にあります。その思いを継続して形にしていくことがとても大事だと考えています。実行委員会では、3・11に行うJR奈良駅前の集会とともに、学習も大事にしようと、プレ企画で学習会を行っています。今年は1月に森松明希子さん、木原壯林さんのお話をお聞きしました。来年は新年あけたらすぐ



デモの第1グループ

1月21日に奈良大学教授の高橋博子さんに「放射性降下物・内部被ばく隠蔽の歴史」についての講演をお願いしています。

「つどい」の構成団体をさらに増やしたいと現在、奈良県内の様々な団体に実行委員会に集ってほしいと声掛けをしています。「つどい」の構成団体、呼びかけ人は「何よりも命が大事」だと思ふ人たちです。その一点で、原発の問題以外にも、憲法を守ろう、沖縄のこと、野党共闘で政治を変えよう、奈良で起こっている自然破壊のメガソーラーへの反対、奈良県内の水道問題、今年の秋は安倍国葬に反対するなど様々な問題を連携して行っていくネットワークとなっています。それぞれの取り組みの中でも老朽原発動かすなプラカードを持ちながらアピールをしています。みなさんとともに、関西電力に原発を諦めさせるために共に頑張っていきます。

(原発ゼロ・被災者支援 奈良の集い実行委員会)

共同代表 堀田美恵子)

県内での連携した力で、関電を追い込もう 原発を作らせないまま、たのび太への責任

現在兵庫県内には、脱原発活動で連携する「ネットワーク」的なものはありません。そのため今回の兵庫からあいつ探すため知っている各地のメンバーに声掛けをしましたがすべて断られ、最後には私の会からの挨拶となり、12月4日当日の参加者も少ないのでは?など心配しましたが「壊すな憲法! いのち暮



デモの前に、兵庫の記念写真

らし!市民デモHYOGO」に参加する団体含めたくさん参加(写真1兵庫からの参加者すべてではありません)があり大変嬉しかったです。今後は、県内ネットワークなど含め連携した取り組みを作らないと次々と再稼働を企てる関電を追い込めないのではないかと思います。

【今回のデモでのエピソード】

私は今回のデモでは、写真撮影もあらずと歩道を歩きました。そしてデモ最終手前のならば駅あたりからですが一人の若者が一緒に歩いてくれました。彼(高校1年生)が先頭で配っているチラシを真剣に読んでくれていたので話しかけると「学校で原発は安全と教えられていたのにそうではなかったのですね。」から始まり、デモに参加していいですか?とわれ、歓迎する中で最後の公園まで歩いてくれました。彼から「今後

デモの第2グループ(後ろにさらに)



はどのようなことをするのですか?」など積極的に話してくれて、来年は、大阪から若狭湾の原発まで200kmになるデモなども計画していることなども話しました。「私たちオジイは君たち若者が安心できる社会を残すために頑張っているんだ」と話して終わったのですが、何か聞きたいことあれば渡したプログラムの番号に電話(木原壯林さんの電話ですみません)してと言って別れました。爽やかな青年でした。

(脱原発はりまアクション)

菅野逸雄)